



販売店さんこんにちは

創業時の苦労が成長の礎に。 頼りになる社員と力を合わせて お客様の信頼に込め続ける。

川越伸弘さん ● (株)カワヒロ (宮崎県宮崎市)

約40万人の人口を擁する宮崎市は、宮崎県の南東部に位置する県庁所在地です。温暖な気候に恵まれ、特に日向灘に臨む海岸線は南国情緒にあふれています。プロ野球チームなどのキャンプ地として有名で、毎年多くのファンが訪れます。宮崎市で昭和55年に創業した(株)カワヒロは、荒物雑貨の販売からスタートし、現在は建築金物や土木資材、電動工具などの販売店として成長を遂げています。

会長ご夫婦が開業した 荒物雑貨店が原点

JR日豊本線宮崎駅から車で約12分、宮崎西バイパスにつながる道路沿いに店舗を構える(株)カワヒロ。社名が書かれた看板が遠くからも目にとまります。「看板の青色と黄色を当社のイメージカラーにしようと考えています」と話すのは川越伸弘社長。

同社の創業は昭和55年。会長の勝敏さんが荒物雑貨の卸販売会社を辞めた一年後に、旧地名を屋号にした生目金物を、現在の場所で奥様の久美子さんと始めました。当初は荒物雑貨を扱っており、卸販売会社時代のお客様が店舗に足を運んでくれましたが、やがて経営は厳しい状況に。こうしたなか、新たに建築金物や土木資材を扱うようになります。建築現場へ朝駆け、夜駆けで営業や配達に奔走する日々。現場へ足を運んだ際には、現場監督だけでなく、職人さんにも必ず挨拶をし、職人さんから道具や資材のことを学びながら、不足しているものを把握して受注につなげていきました。

昭和60年に(有)生目金物に法人化。平成4年には近郊にホームセンターができたことへの危機感から、更なる成長を期して店舗を増築すると同時に社名を(有)カワヒロに変更しました。そこには「大海に注ぐ川のように末広がりで繁栄していくように」との願いが込められています。新たなスタートを切ったからは、東九州自動車道の整備に伴い増加してきた、宮崎市外か

らの業者さんの現場事務所を、配達帰りに足繁く訪問。名刺配りなどしてお客様を増やしていきました。こうして経営を軌道に乗せて、平成22年に長男の伸弘さんが社長に就任。平成29年には(株)カワヒロに組織変更をして現在に至っています。

先代から受け継がれる お客様に奉仕する精神

「お客様と誠実に向き合い、不義理をしない」。これが、懸命に働き続けて来た両親の姿から伸弘社長が学んだことです。店舗の営業時間や納期などは絶対に守り、お客様が必要としている商品はたとえ一つでもフットワーク良く配達するようにしています。また納入した商品に不具合があった場合には、決して言い訳をせず迅速にフォロー。こうしたお客様のために尽くす姿勢が信頼を得ることにつながっています。

お客様の声を店舗の品揃えに反映してきた同社。伸弘さんが社長に就任してからは、特に主力商品になりつつある電動工具で売上を伸ばしています。「商品の詳しい情報の提供や、メンテナンスを含めてスピード感を持って対応してきた結果だと思います。今は在庫を抱えても売り切る自信があります」と伸弘社長は話します。

会社の経営が順調なのは 頼りになる社員のおかげ

創業時の苦労を乗り越え、現在は順調に成長を続けている同社。「創業から10年の時に苦労がたたって妻が体調を崩し、その時にはお店を閉めることも考えましたが、続けてきて本当に良かったです」と笑顔を浮かべる勝敏会長。さらに伸弘社長は「今の会社の成長は経営陣だけの力ではなく、一緒にがんばってしてくれた社員のおかげでもあります」と強調します。「最近も、あるお客様が『この間、商品のことを詳しく説明

してくれた兄ちゃんを呼んでくれ』と社員の一人を指名して下さったのですが、そのお客様に充電式運搬車を1台。さらにそのお客様がご紹介して下さった方にも購入していただき、いきなり2台販売して驚きました。それに、電動工具を展示している棚も、社員が自発的につくってくれたんです」と、うれしそうに語る伸弘社長。社員一人ひとりが「昨日よりも明日」と日々少しでも成長することを心掛けている同社は、これからもお客様の信頼に込め続けていくことでしょう。



▲お客様一人ひとりと誠実に向き合うスタッフの皆さん

ちょっといい
“モノ”
語り

事あるごとに
読み返している
学びの一冊



経営者になってからは、責任の重さから不安にかられることも多く、それを克服したいという気持ちからよく本を読むようになりました。その中でも度々読み返しているのが、この「原因」と「結果」の法則です。熊本県人吉市で開催されている中小企業大学校に参加したときに図書館で見つけた本で、世界中でよく読まれているそうです。物事には必ず原因と結果があり、それをつくり出しているのは自分だという、言ってみれば当たり前のことが書かれているのですが、経営や人生をいい方向に向かわせるきっかけを得ることができます。今後も、経営のことで何かつまずいたときには、またきつこの本を手にとると思います。



▲東九州自動車・宮崎西ICのすぐ近くに位置する店舗